

子規博特別講座 冬季子規塾

虚子と松山

高浜虚子（1874～1959年）にとって松山とはどんなものだったのか。
彼の文学の一つの核と言ってよい「松山的なもの」について
生育史、交遊、俳句、写生文などから
多面的に考えます。

令和7年 12月14日（日）14:00～15:30

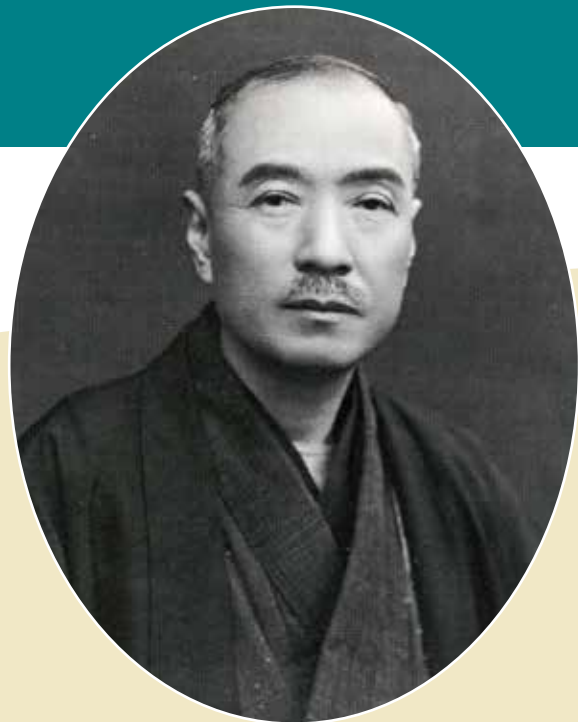
会場：松山市立子規記念博物館 4階講堂

参加費：無料（事前申し込みが必要）

定員：
300名（定員になり次第締切）

申込方法：
①氏名（ふりがな）②電話番号 ③参加人数 を明記し、
ご来館またはメール、FAX、お電話、
お申し込みフォームにてお申し込みください。

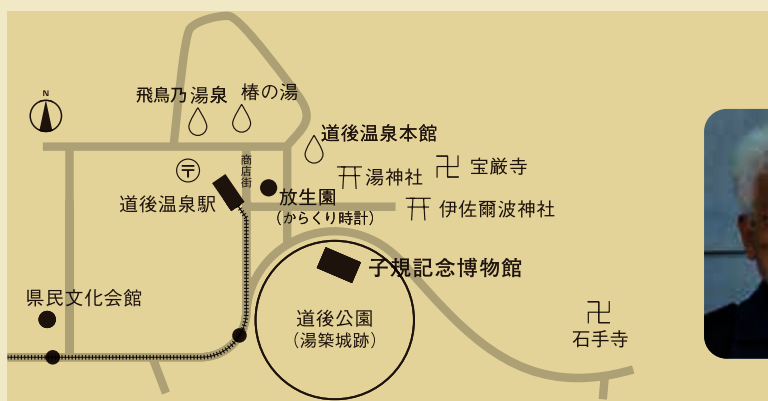
[宛先]〒790-0857 松山市道後公園 1-30
松山市立子規記念博物館「冬季子規塾」係
電話 089-931-5566 FAX089-934-3416
メール sikihaku@lesp.co.jp



お申し込みフォームは
こちらの二次元バーコードを
読み込んでください。



主催：松山市教育委員会
（運営：松山市立子規記念博物館 指定管理者：株式会社レスパスコーポレーション）



講師
坪内 稔典（つぼうち ねんでん）氏
1944年佐田岬半島生まれ。俳人、歌人、エッセイスト。
俳句グループ「窓の会」常連。
最近の著作に「モーロク日和」（創風社出版）、
「高浜虚子—余は平凡が好きだ」（ミネルヴァ書房）、
「河馬100句」（象の森書房）など。

道後温泉駅より徒歩約5分／道後公園駅より徒歩約5分 ※公共の交通機関をなるべくご利用ください

松山市立子規記念博物館 〒790-0857 松山市道後公園 1-30 TEL: 089-931-5566 sikihaku@lesp.co.jp
HPアドレス: <https://shiki-museum.com>